

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第2区分
【発行日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【公表番号】特表2000-500764(P2000-500764A)

【公表日】平成12年1月25日(2000.1.25)

【出願番号】特願平9-519828

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/575 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/575

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 1/16 1 0 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 47/24

【誤訳訂正書】

【提出日】平成18年5月31日(2006.5.31)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】補正の内容のとおり

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【書類名】 誤訳訂正書
【整理番号】 PA-21107
【あて先】 特許庁長官 殿
【事件の表示】
【審判番号】 不服2005-23892
【出願番号】 平成 9年特許願第519828号
【特許出願人】
【識別番号】 500469235
【氏名又は名称】 チルドレンズ ホスピタル メディカル センター
【代理人】
【識別番号】 100066692
【弁理士】
【氏名又は名称】 浅村 皓
【発送番号】 138069
【訂正により減少する請求項の数】 4

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】 明細書
【訂正対象項目名】 発明の詳細な説明
【訂正方法】 変更
【訂正の内容】

【発明の詳細な説明】

- (1) 明細書第2頁第21行の「投与」を『送達 (delivery)』と訂正する。
(2) 明細書第2頁第22行、第23行、第24行及び第25行；並びに第16頁第7行の「投与」を『送達』と訂正する。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】 明細書
【訂正対象項目名】 特許請求の範囲
【訂正方法】 変更
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 3α 、 7β -ジヒドロキシ- 5β -コラン-24-酸 (UDCA) のスルフェートまたはそれらの塩と、薬理学的に受容されるキャリアーとを含む、哺乳動物の胃腸管の炎症性状態を抑制または治療するための組成物であって、前記炎症性状態が結腸癌、直腸癌、結腸の腫瘍、直腸の腫瘍、結腸の発癌、直腸の発癌、潰瘍性大腸炎、腺腫様ポリープ、家族性ポリポーシス及びこれらの組合せから成る群から選択され、前記スルフェートが哺乳動物の前記胃腸管の炎症性状態を抑制または治療するための有効量で存在する薬理学的に受容される組成物。

【請求項2】 前記スルフェートがUDCA-3-スルフェート、UDCA-7-スルフェート、UDCA-3, 7-ジスルフェート、グリコーUDCA-3-スルフェート、グリコーUDCA-7-スルフェート、グリコーUDCA-3, 7-ジスルフェート、タウローUDCA-3-スルフェート、タウローUDCA-7-スルフェート、タウローUDCA-3, 7-ジスルフェート、及びこれらの組合せから成る群から選択される、請求項1記載の薬理学的に受容される組成物。

【請求項3】 前記スルフェートがUDCA-3-スルフェート、UDCA-7-スルフェート、UDCA-3, 7-ジスルフェート及びこれらの組合せから成る群から選択される、請求項1記載の薬理学的に受容される組成物。

【請求項4】 前記スルフェートがUDCA-7-スルフェート、UDCA-3, 7-ジスルフェート及びこれらの組合せから成る群から選択される、請求項1記載の薬理学的に受容される組成物。

【請求項5】 前記胃腸管が小腸、大腸、及びこれらの組合せから成る群から選択される、請求項1記載の薬理学的に受容される組成物。

【請求項6】 哺乳動物の大腸にUDCAを送達するための、請求項1記載の薬理学的に受容される組成物。

【請求項7】 前記スルフェートがC-7炭素上にスルフェート部分を含み、UDCAによる又はC-7炭素上にスルフェート部分を有さないUDCAスルフェートによる大腸へのUDCA送達に比べて、哺乳動物の大腸へのUDCA送達を改良する、請求項6記載の薬理学的に受容される組成物。

【請求項8】 前記スルフェートがC-7炭素上にスルフェート部分を含み、結腸中のリトコール酸又はその塩、及びデオキシコール酸又はその塩の量を減ずる、請求項1記載の薬理学的に受容される組成物。

【請求項9】 前記スルフェートがC-7炭素上にスルフェート部分を含み、結腸におけるリトコール酸又はその塩の、デオキシコール酸又はその塩に対する比率を実質的に高めることなく、結腸にUDCAを送達する、請求項1記載の薬理学的に受容される組成物。

【請求項10】 経口投与、局所投与又は静脈内投与用に製剤化されている、請求項1記載の薬理学的に受容される組成物。

【訂正の理由等】

(訂正の理由1-1)

発明の詳細な説明について

明細書第2頁第21行、第22行、第23行、第24行及び第25行；並びに第16頁第7行において「投与」とした点について

この箇所の原文の標記は、原文第3頁第19行、第24行、第4頁第1行、第3行及び第5行並びに第23頁第16行において、delivery、deliver、delivery、delivered、deliver及びdeliveryと記載されていたものであり、誤訳訂正前は「投与」と翻訳していた。

しかしながら、たとえば「結腸への投与」という記載では、これが座薬としての投与を意味するかのような誤解を与えるおそれがある。本願は肝臓におけるバイオトランスフォーメーションを避けて、高い濃度でUDCAを作用部位に送達するものであり、このよう技術的な意味を参酌し、また、drug delivery は当分野において一般に「薬剤送達」と翻訳されていることを参酌して「送達」と誤訳訂正する。

(訂正の理由1-2)

特許請求の範囲について

上記の発明の詳細な説明の誤訳訂正に鑑み、特許請求の範囲の請求項6、7及び9（旧請求項13）においても同様に「投与」を「送達」と訂正する。

そのほか、旧請求項8-11を削除した。

かかる削除は、一般補正で対応可能な補正であるが、審査基準の「一般補正で対応可能な補正事項を補正する場合には、これを誤訳訂正書に含ませ、手続補正書を別途提出することなく1回の補正手続で行うことが望ましい。」との記載にしたがった。

さらに、請求項7において、「改良するための、請求項6記載の薬理学的に受容される組成物」を「改良する、請求項6記載の薬理学的に受容される組成物」と；請求項8（旧請求項12）において「減ずるための、請求項1記載の薬理学的に受容される組成物」を「減ずる、請求項1記載の薬理学的に受容される組成物」と；請求項9（旧請求項13）

「送達（上記の誤訳訂正後の記載）するための、請求項1記載の薬理学的に受容される組成物」を「送達する、請求項1記載の薬理学的に受容される組成物」と補正して明瞭化を図った。

かかる補正も一般補正で対処可能な補正であるが、誤訳訂正書に含ませた。

さらに請求項7において、「前記スルフェートがC-7炭素上にスルフェート部分を含む、」と記載されていたものを、「前記スルフェートがC-7炭素上にスルフェート部分を含み、」と補正して明瞭化を図った。かかる補正も一般補正で対処可能な補正であるが

、誤訳訂正書に含ませた。